

2学期 学校安全

令和7年12月

大分県立別府支援学校



生徒指導部

第2号

防災学習をしました。

11月に防災学習を行いました。スロープが使用できなくなった時はどのように避難を行えばよいかを考えました。また、避難所での生活を学び、実際に防災食を作って食べる学習も行いました。

11月18日（火）には防災対策委員会を実施し、別府市役所の防災危機管理課の方や荘園地区自治会長さん、PTA役員の方にもご参加いただき、意見交換を行うことができました。

【防災食の試食】

アルファ米にお湯を入れ、カレーをかけて試食を行いました。水やガスが使用できないと、手を洗うことができないことに気づき、紙皿を何度も使用するためにはラップを敷いて食べることで水の節約になることも学ぶことができました。



【防災学習】

地震が起きたときの行動を確認し、ヘルメットや防災頭巾を被る学習を行いました。スロープが使用できない場合の避難方法を考え、実際に道具を使用し確認を行いました。

【防災対策委員会】

各関係機関の方々に参加していただき、本校の防災に対する取り組みを紹介しました。さらに、今後の防災への取り組みに活かせるようなアドバイスを頂くことができました。



寄宿舍で地震避難訓練を実施しました。

9月17日（木）寄宿舍避難訓練を実施しました。夜間の地震発生を想定した訓練でした。

【目的】

- ・舎生が指示に従って避難準備をし、身を守り、安全に避難することを学ぶ。
- ・ライフラインが不通の中で、夜間マニュアルが機能できるか検討する。
- ・迅速に舎生の安全確認を行い、他の職員と連携し安全に避難誘導できるか検討する。



【事前学習の様子】

9月10日に実施された事前学習では全舎生が食堂に集まり動画を見て地震の恐ろしさを知り、屋内外で地震が起こった時や収まった時にとるべき行動を学びました。学びの最後には職員の質問に答えたり3択の問題に取り組んだりして確認をしました。

【避難訓練の様子】

今回の地震避難訓練は就寝時を想定した避難訓練のため舎生は布団に入ってから避難でした。職員はより実践に近づくために事前の打ち合わせをせず訓練に臨みました。そのため多少の混乱や連携が上手くいかないところがありました。舎生はそんな職員の混乱を他所に不安な様子を見せることなく職員の呼びかけをしっかりと聞いて落ち着いて避難することができています。舎生が安心安全に避難するために普段から動きの確認をすることの大切さを再認識しました。

